

日本福音ルーテル教会  
九州教区女性会  
第21期 110号

発行者 榎津直江  
編集者 小林涼子  
印刷 平山印刷出版

# みちしるべ

主題聖句

二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。マタイによる福音書18章20節

## 憧れの女性



牧師  
森下 真帆

小倉教会  
直方教会

を受けて自宅を伝道所にした行動力に、多くの参加者が憧れているようです。

話を聞いてなるほど私も憧れるなあと思いながら、ちょっと私は無理かも、と思つたりしました。私とろいので・・・。会議をどあらゆる分野で女性たちが目覚ましい活躍をしています。しかし一方で、これまで男性に占められていましたが、これまで女性に占められていた働きに女性が進出することも多く、女性が教会でどのように働いていたらしいかということが参加者の関心事でした。

テスラント教会です。この教会では牧師、長老、説教者、奉仕者などあらゆる分野で女性たちが目覚ましい活躍をしています。しかし性のリーダーシップをテーマにしたもので、教会でもっと女性が用いられるために何ができるかということが広く話し合われました。会議にはインドネシアを主として各國から150人以上の参加者があり、一日間のプログラムの中では、ルーテル学院大学講師の安田真由子さんが新約聖書にみる女性のリーダーシップについて発題をさる場面もありました。

先日私は、インドネシアで行われた「東南アジア教会女性会議」にインターネット経由で参加しました。この会議は教会における女性のリーダーシップをテーマにしたもので、教会でもっと女性が用いられるために何ができるかということが広く話し合われました。会議にはインドネシアを主として各國から150人以上の参加者があり、一日間のプログラムの中では、ルーテル学院大学講師の安田真由子さんが新約聖書にみる女性のリーダーシップについて発題をさる場面もありました。

そんな中で、私にとって印象的だったのがグループディスカッションでのひとコマです。少人数に分かれて色々なことを話し合つた中で、私たちのグループでは女性リーダーのモデルとして、使徒言行録16章に登場するリディアという人物に注目が集まりました。彼女のビジネスウーマンとしての才能、パウロの話を注意深く聞く聰明さ、自分も家族もすぐに洗礼

今、世界の教会で、女性たちは活躍の場を求める戸惑いながらリーダー像を模索しています。でも教会で活躍する女性の理想像というものは一種類ではありません。教会における女性の働きは極めて多様だからです。私たちはそれぞれ自分の賜物を持ち寄って、共に悩み、共に歩んで教会をつくり上げていけたらと思います。



## 梅北美智子姉の思い出

広島教会牧師 立野 泰博

梅北美智子姉とは彼女の 3 つの側面からの出会いがありました。

### 1、ヒロシマ・被爆者としての梅北さん

中国新聞に「広島県立広島第一高等女学校 1 年で原爆死した梅北トミ子さん（13）が、1

945 年 8 月 5 日までつづった日記が原爆資料館（広島市中区）にある」と紹介されています。梅北さんは当時 2 歳でした。姉は被爆死をされています。お母さんがトミ子さんの日記を大切にされており、毎年 8 月 6 日広島教会に宿泊、記念式典に参加され、お姉さんが被爆死した場所で祈つておられました。日記は 2003 年に資料館に梅北さんから寄贈されていました。

### 2、聖書日課ルーテル 6 教団に、祈りの葉書を 20 年毎日出し続けた梅北さん

伝道セミナーに参加され、自分

今号では  
梅北さんと交流のあった 3 名の方  
に思い出を綴っていただきました。  
(廣瀬美由紀)



## 鹿児島教会 梅北美智子さん



立野牧師と共に

私が鹿児島教会となつた時、礼拝出席は 2 名でした。鹿児島教会といえど九州教区の最南の要教会です。過去には 90 人礼拝をされていました。鹿児島福祉の発祥地としても有名です。兼務した時に聞

3、鹿児島教会を最後まで守つた信仰者としての梅北さん

3 つの側面は実は信仰者として一つの梅北美智子さんだったと思ひます。梅北さんが遺してくださつた思い出を大切にして、さらに宣教の道を歩みたいと思います。

でできる宣教は何だろうと考えたそうです。祈ることはできる。聖書日課の教会を覚えて祈ろう。

さつたもの。できるなら存続させたい」と。ならば復興の道を共に歩みましょう。兼務 4 年間でたくさんの改革をしました。礼拝が 25 名になつたときの喜びは忘れられない梅北さんがおられました。この歩みをめざして、さらには梅北さん

鹿児島教会を60年以上守り支えてこられた梅北さんが、今年5月に77歳で召天されました。

梅北さんは高校生の時、洗礼を受け、それから教会生活を続けられ、代議員、会計、女性会と全ての役を一手に引き受け、歴代の牧師先生方と共に歩んでこられ、兼牧となつてからは、立野牧師と共に教会の旧牧師館の解体、集会場の改築工事をやり遂げられ、また全国の教会へ聖書日課を通して20年に亘り祈りの手紙を届けられ、ご自身の生活の全てを教会活動に捧げられました。

### 鹿児島教会 小原 祥子



鹿児島教会前にて(中央が梅北さん)

### 梅北さんと出会って

#### 札幌教会札幌北礼拝堂 京谷 信代

北の私が南の梅北さんと出会ったのは、1994年から始まった「全国伝道セミナー」でした。10年程参加していましたので、いつしか「北の京谷、南の梅北」で知られるようになりました。親しくなりました。毎年行われるこの伝セミで会うことが楽しみでした。

伝セミの方向性が私の求めているものと違うと感じ、卒業しようと思っているとき梅北さんから聖書日課セミナーに誘われました。長いこと誘いを受けましたが、2014年初めて「聖書日課読者の集い」に参加しました。久しぶりに再会し、健康のこと、信仰のこと、教会のこと、話は尽きませんでした。それからは毎年会うことができました。

また、あることから梅北さんが被爆者であり、毎年広島に行っていることを知りました。私は終戦の年に生まれ、50歳（戦後50年）の時から10年ごとに広島、長崎の現地で式典に参加し、平和を祈ることを自分に課していました。戦後70年は広島行きを準備していましたので、すぐに連絡を取り原爆記念式典にご一緒しました。昨年からコロナ禍でお会いすることもできませんでしたが、メールのやり取りは続けていました。「貧血が進み、輸血に通う病院と、礼拝と週1、2回教会に行くことが私の仕事」と語っています。「65年、死を意識して生きてきた」と語る梅北さんからの最後のメールは、「神様は私に『そろそろ準備をしておけ』と言っておられます」。

北と南に離れていても、こうして長い間信仰の友として交わりが持てたことは本当に感謝でした。穏やかで、一緒にいて安らげる人でした。み言葉を信頼し、深い信仰の上に立って日々の生活を送られていましたことを接するたびに感じていました。全国への祈りのはがきは、セミナー参加者の中から引き継いでくださる方がいて感謝です。私は梅北さんの被爆者の思いを引き継いで、核なき平和な世界のために祈り行動するものでありたいと思っています。

鹿児島教会と言えば梅北さんと全国の教会の方々がご存知です。教会のご近所の方々との交流も続けてこられました。昨年から役を引き継ぎされ、入退院の繰り返しの中、退院されると教会に顔を出され、鹿児島教会の生き字引のような存在でした。生活の全てが教会であり、神さま中心であつた梅北さんが、神さまの御許で安らかに憩われますようにお祈りいたします。

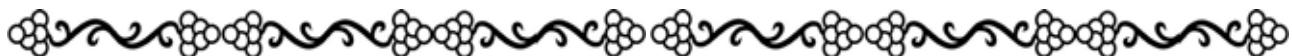
## 教区女性会会長会開催 於: 博多教会・南博ホール

緊急事態宣言の発令により延期を余儀なくされていた女性会会長会が 11 月 13 日、13 教会、総勢 21 名の方々が集まり行われました。

池谷考史牧師による開会礼拝の後、榎津女性会会長、教区常議員会社会奉仕部長の尾田明子さんのご挨拶から始まり、21 期役員の紹介と報告が終わったところで一旦ティーブレイク。マスクを着用し、ソーシャルディスタンスに気を付けながらも、やはり久しぶりに会った仲間との話は弾みます。

その後は「分かち合い」として、2つの取り組み「女性会加入に向けて」「高齢の方に向けて」をテーマに宮崎教会の三好けい子さん、健軍教会の甲斐夕貴さんにそれぞれの教会の現状をお話しいただき、続いて3つのグループに分かれて各教会の状況や展望を話し合いましたが、どのグループも笑い声が広がる盛況ぶりでした。

最後は全員で集合写真をパチリ。マスクを外したみなさんの表情は明るく、21 期の主題「共にいる喜び」を実感できる1日となりました。



## ルーテル阿蘇山荘「感謝の祈り」が行われました



2016 年の熊本地震で大きな被害を受けた「ルーテル阿蘇山荘」が解体されるのを前に、10 月 29 日に九州ルーテル学院、教区常議員、女性会、阿蘇山荘にゆかりのある方達約 30 名が集い、「感謝の祈り」が開催されました。

真っ青な空の下、赤い屋根の阿蘇山荘を背に崔大凡牧師の司式のもと、説教を担当された角本牧師が今回の聖書箇所である詩編 102 編 19 節を用いて「主が新しい時代を祝福してくださることを確信している聖書の中の詩人

のように、わたしたちもここに新しいものができたと喜ぶ日が必ず来ると確信を持ちたい」とお話しください、復活の願いを込めた白いストール姿での祈りの集いとなりました。

また、九州ルーテル学院と教区常議員会によって組織される「阿蘇山荘維持管理委員会」には今後新たなメンバーを加え、解体後についての協議を続けていく方針が示されました。

多くの人が楽しいひと時を過ごした阿蘇山荘。決して平坦な道ではありませんが、良き未来に導かれるよう祈りたいと思います。



## 試練に遭つたときに

箱崎教会

福留美弥子



逃れる道をも備えていてくださいます」

(コリントの信徒への手紙 I 10..13)

神様の暦も人間の暦も早いもので、私も  
いつの間にか80才を過ぎてしまいました。  
九州教区の役員の方から「何か若い人に  
メッセージを」と頼まれました。

私は若い人に聖書の次の言葉を贈りたい  
と思います。

「あなたがたを襲つた試練で、人間として  
耐えられないようなものはなかつたはずで  
す。神は真実な方です。あなたがたを耐え  
られないような試練に遭わせることはなさ

ります。  
神様は私達を愛してくださっています。



耐えられない試練はお与えにならないと信じます。

といいましても、80才をすぎましたので、  
この聖書の言葉がよくわかりますが、若い  
時は試練に遭うとすぐ、うろうろ、はらは  
らしていました。

神様にお任せすることはできず、自分ひ  
とりの力で何とかしようとあがいていまし  
た。

しかし、いつの頃からか、この聖書の意  
味がよくわかるようになりました。



(活動目標3 会報みちしるべによる交流)

## 町と人と小城教会

小城教会 泉 清子



小城は全国的にも知られる小城羊  
羹のほか、山から流れる質の良い水  
を使つた酒蔵や鯉料理店も多く見ら  
れる町です。かつての鍋島家のお屋  
敷は、桜の名所小城公園として市民  
の憩いの場となり、幼稚園、小学  
校、高校、大学が集まる文教地区と  
なっています。小城教会はこの地に  
あり、私は幼稚園（現小城ルーテル  
こども園）、小学校、そして高校の  
前身である女学校で学生時代を過ご  
し、幼稚園で働き、今は小城教会の  
教会員として、この町に関わりなが  
ら暮らしています。

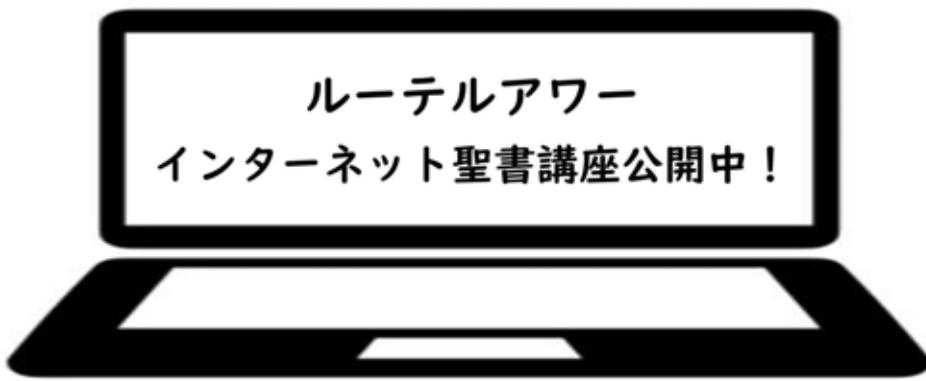
戦後のキリスト教ブームの頃は小  
城教会にも多くの人が訪れ、礼拝堂  
の座席だけでは足りなくなるほどで  
したが、時代とともに礼拝出席者は  
少なくなつていきました。女性会も  
林宏牧師夫人の哲子姉が熱心に活動  
されており、九州教区の女性会にも  
参加していた時期がありました。し  
かし、その後は教会員だけでは活動  
がままならず、うやむやとなつたま  
ま今に至ります。



現在小城教会の礼拝は月一回、平  
日の午後に行います。最も少ない時  
は二人で礼拝を守つていましたが、  
新たに受洗された方を与えられ、四  
人となりました。以前はこども園の  
先生方も一緒に教会で礼拝を行つて  
いましたが、コロナウイルスの影響  
で今はそれが叶わないのが少し寂し  
くもあります。

このように教会を通してたくさん  
の人と関わり、恵まれた日々に感謝  
しながら、信仰の灯を消さないよう、  
小さな一步ではありますがこれから  
も歩み続けたいと願つております。





「聖書通信講座」を通じてキリスト教伝道の一翼を担ってきたルーテルアワー。その名を目にして懐かしく感じる方も少なくないのではないでしょうか。

ルーテルアワーは現在も西日本福音ルーテル教会によりラジオ番組が放送されていますが、日本福音ルーテル教会東教区ではインターネット伝道委員会を立ち上げ、パソコンやスマートフォンから、いつでも誰でも閲覧できる「ルーテルアワー・インターネット聖書通信講座」※を運営、公開しています。

聖書を知り、聖書全体を体系的に学べる「聖書の学び」や、人生の迷いに対して共に考える「人生の問い」、「こんな時に読みたい聖書のことば」では様々な気持ちに寄り添う聖書の言葉と暖かいメッセージが綴られており、キリスト教や聖書に初めて触れる方だけでなく、ベテランの方が今一度聖書を読み直す手引きとしてもぴったりなページが満載です。

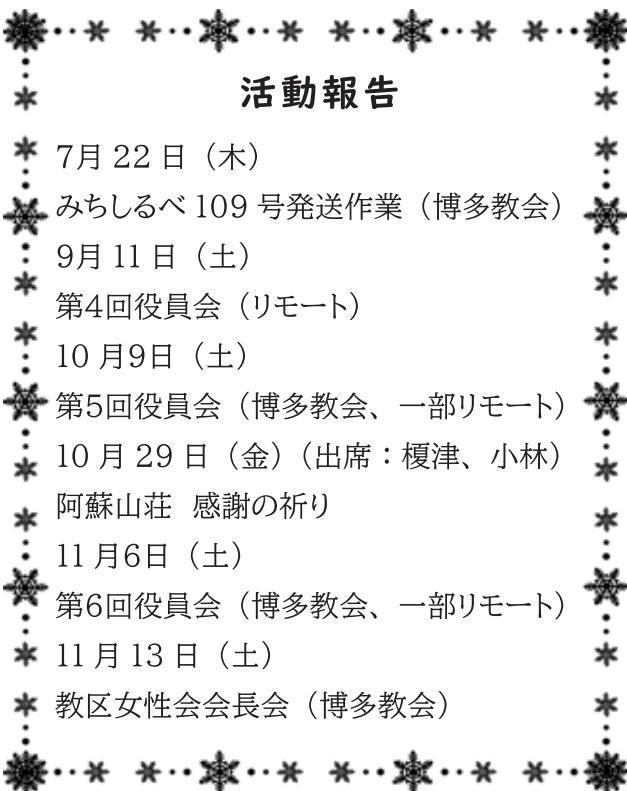
また、「キリスト教Q&A」では諸々の悩み事相談から、話題のスイーツ、マリトツオとキリスト教との関係まで、マスコットキャラクターの「るたーさん」がいろいろな疑問・質問にズバリ回答！驚くような知識や思わず唸ってしまう名（迷？）回答は一見の価値アリ！

**BIBLE STUDY**

ホームページアドレス  
[biblestudy.jp](http://biblestudy.jp)

または **ルーテルアワー 聖書講座** で検索

←QRコードからアクセスできます！  
スマホやタブレットのカメラから読み取ってください。



ご召天

安田エミ子さん	藏原美美子さん	轟朝子さん	寺尾すみ子さん	渕田康子さん
96歳	93歳	94歳	98歳	95歳
八幡教会	室園教会	久留米教会	箱崎教会	大江教会
2021年7月30日	2021年9月3日	2021年9月18日	2021年10月10日	2021年11月9日
神様の御許で安らかに憩われますようお祈りいたします。				

### みなさんの素敵なお話、教えてください！

若い人々と共に学ぶ「十五歳！」、共に恵みを分かち合う「私の讃美歌、私の聖句」、平和の問題に目を向ける「平和ってどんなこと？」etc…、テーマは問いません！

#### 【宛て先】

〒805-0021

北九州市八幡東区石坪町2-3 日本福音ルーテル八幡教会 みちしるべ係

e-mail アドレス : michishirube21kyushu-letters @ yahoo. co. jp



★今号の取材で「阿蘇山荘感謝の祈り」に参加しました。

★地震以降、立ち入ることのなかつた山道を綺麗に草刈りしてくださった方々、YOUTUBEでのライブ配信に尽力してくださった牧師の先生方、学生時代に阿蘇山荘を訪れた信仰に触れるきっかけとなつた方、そしてシーズン前のお掃除を恒例行事としてくださつていた熊本地区の女性会の方々、様々な形で阿蘇山荘に関わつた方達とお話することができました。

★皆さん、なつかしそうにヒピソードを語つてくださり、本当に阿蘇山荘は皆さんに愛された場所だつたことが伝わつて私にとつても印象深い出来事となりました。

★そこで、次号は阿蘇山荘への思いをつづつた特集を企画したいと思ひます。阿蘇山荘の思い出、写真などお持ちの方の投稿をお待ちしています！